



平成21年6月12日

各位

会社名 株式会社メガネスーパー  
代表者名 代表取締役社長 田中由子  
(JASDAQ・コード番号 3318)  
問合せ先  
役職・氏名 取締役執行役員財務経理部長 齋藤 正和  
電話番号 0465-24-3611

## 特別損失の発生及び業績予想との差異に関するお知らせ

このたび、当社において、下記のとおり特別損失が発生いたしますので、その内容をお知らせするとともに、平成21年4月期（平成20年5月1日～平成21年4月30日）の業績予想について、平成21年3月13日付当社「特別損失の発生及び業績予想の修正並びに事業再生計画に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想との差異についてお知らせいたします。

なお、当社は、平成20年8月1日付にて100%連結子会社である株式会社ハッチを吸収合併しております。今期予想におきましては、連結子会社が第1四半期連結会計期間末まで存在していたため、平成21年4月期における業績予想の差異を「ご参考」として記載しております。

記

### 1. 特別損失の計上及び内容

当事業年度においてホテル2物件（静岡県伊東市・山梨県南都留郡）及び社宅1物件について売却の方針を決定いたしました。

それに伴い遊休資産及び事業用資産について売却予定資産に用途変更いたしましたことにより605百万円の減損損失を計上いたしました。

### 2. 平成21年4月期 個別業績予想の差異等

(1) 平成21年4月期通期業績予想（平成20年5月1日～平成21年4月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	29,230	△670	△830	△3,600
今回修正 (B)	29,422	△257	△433	△3,770
増減額 (B-A)	192	413	397	△170
増減率 (%)	0.7	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成20年4月期末)	32,442	△347	△428	△2,605

< 事 由 >

米国の金融不安に端を発した世界的な金融市場の混乱、企業の業績の悪化による設備投資の減少に加え、雇用環境の悪化等により景気の先行きは一段と不透明感を増し、景気の減速は顕著になってきました。

小売業界におきましては、生活防衛意識からくる節約意識は益々高まり、個人消費の冷え込みは更に進行しております。

眼鏡等小売業界におきましても、依然として価格表示が均一な低価格専門店（ワンプライスショップ）による低価格化の進行や一層激しくなった競合企業間の価格競争による影響で眼鏡等小売市場の縮小に拍車をかけ、一段と厳しい状況で推移しております。

第4四半期におきましては、営業施策として「善意の下取りセール（最大5,000円で下取り）」と銘打ち業界初の人と環境にやさしいエコ・リサイクルをテーマにセールを実施しました。更に、Web通販の強化の一環として既存コンタクト顧客を対象にWeb通販サイト店のご案内DMを発信し、Web通販サイト店の紹介と顧客の掘り起こしに取り組みましたこと等により売上高は業績予想を192百万円上回る事ができました。営業利益におきましてはレンズ半額セール等により大幅な売上総利益の悪化が懸念されましたが、フレームの単価アップ及びレンズのランクアップ等で販売単価はほぼ前年並みに推移しました。更には固定費の圧縮を主軸とした「事業再生計画」の実施により、販売費、人件費及び一般管理費のいずれにおいても抑制が図られ221百万円の経費削減ができたことにより413百万円の改善ができました。しかしながら、前述の減損損失の計上等により当期純利益におきましては170百万円の減益となりました。

(ご参考)

(2) 平成21年4月期通期連結業績予想（平成20年5月1日～平成21年4月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	29,880	△690	△870	△3,510
今回修正 (B)	30,080	△278	△476	△3,678
増減額 (B—A)	200	412	394	△168
増減率 (%)	0.7	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成20年4月期末)	35,313	△549	△717	△2,949

< 事 由 >

(1) と同様